

第1回

「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」  
～ストックの視点から～

2050年とその先を見据えた建築分野の中長期的な方向性について  
ストックの視点から考えます

日 時:令和8年 7月27日(月)  
14時～16時40分(開場 13時)

会 場:アキバホール  
(東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F)

プログラム(予定):

14:00 趣旨説明

14:10 基調講演:「豊かさの総和の最大化を目指す」  
松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学 学長

15:00 パネルディスカッション:

パネリスト(五十音順)

安達 功 氏 日経BP 総合研究所 フェロー(モデレーター)

五十田 博 氏 京都大学生存圏研究所 教授

神本 豊秋 氏 株式会社再生建築研究所 代表取締役

西村 周治 氏 合同会社廃屋 代表

松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学 学長

水上 幸子 氏 株式会社リノベリング 取締役

16:40 終了

入場無料  
事前申込制  
先着180名  
(現地参加の場合)



安達 功 氏



五十田博 氏



神本豊秋 氏



西村周治 氏



水上幸子 氏

開催方法

現地・オンラインハイブリッド開催(無料/要事前申し込み)

聴講を希望される方は、下記URL又は右記QRコードより、事前申込をお願いいたします。

URL:<https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>



共 催:国土交通省・一般社団法人住宅リフォーム推進協議会

後援(予定):(一社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(一社)JBN・全国工務店協会、  
全国建設労働組合総連合、(一社)住宅生産団体連合会、(一社)日本建設業連合会、  
(公社)日本建築家協会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、  
(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会

## 登壇者プロフィール(五十音順)



安達 功 氏：日経BP 総合研究所 フェロー

1986年東京理科大学工学部建築学科卒業。エンジニアリング会社日揮にて製薬会社等の研究施設の設計・施工・プロジェクトマネジメントに従事。S造、RC造、SRC造すべての実務を担当。日経BPでは土木雑誌「日経コンストラクション」の開発、建築雑誌「日経アーキテクチャ」編集を経て、住宅実務誌「日経ホームビルダー」の創刊を担当。同誌編集長、建設局長、インフラ総合研究所長、執行役員日経BP総合研究所長等を経て2021年4月から現職。国土交通省建築分野の中長期的なあり方に関する懇談会・検討会委員。



五十田 博 氏：京大大学生存圏研究所生活圏木質構造科学分野 教授

1965年新潟県生まれ。1990年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、信州大学工学部助手、建設省建築研究所(現国立研究開発法人建築研究所)主任研究員、信州大学工学部准教授、同教授を経て、2013年より京大大学生存圏研究所教授、現在に至る。日本建築学会副会長など。博士(工学)。専門は、木造住宅の耐震安全性に関する研究、中層大規模木造建築の開発と性能評価、CLT等の新素材や新たな構造システムの開発と構造性能評価など。国土交通省、林野庁、文部科学省などで各種委員会委員多数。日本建築学会賞(論文、2011年)など受賞多数。



神本 豊秋 氏：株式会社再生建築研究所 代表取締役

「再生建築を文化に」をミッションに再生建築の研究を行う。2012年創業。同年より京大大学生産技術研究特任研究員(川添研究室)として、約100年ぶりの東京大学総合図書館の再生に従事。2015年に株式会社再生建築研究所を設立。同社で企画・再生したミナガワビレッジ(東京都・渋谷区)に入居し、運営も行う。文部科学省 CO-SHAアドバイザー、国土交通省モデル調査事業外部委員「中小ビルのバリューアップ改修投資の促進に向けたモデル調査事業」、文化庁 建築文化フェローに就任。



西村 周治 氏：合同会社 廃屋 代表

1982年京都府生まれ、神戸芸術工科大学卒。  
だれも見向きもしないようなボロボロの廃屋を買い、古材をつかって改修している。  
活動のルーツは大学を卒業後、DIYして住んでいた激安賃貸の住まいを地上げ屋に追い出された経験から、自分でボロボロの物件を所有して作り直して活用するというスタイルに辿り着く。最近では複数棟まとめて買い「村」にまで発展し、各所に村ができつつある。



松村秀一 氏：神戸芸術工科大学 学長

1957年神戸市生まれ。1980年東京大学建築学科卒業。1985年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。1986年より東京大学講師、助教授、教授、特任教授を経て2023年より早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員・研究院教授。2024年4月から現職。専門は建築構法・建築生産。日本建築学会賞(論文、2005年)、都市住宅学会賞(著作、2008年、15年、16年)、日本建築学会著作賞(2015年)、国土交通大臣功労者表彰(2025年)、日本不動産学会著作賞(2025年)等受賞多数。主な著書に「これからの建築入門ー〈自分でつくる〉を取り戻せ」(岩波書店)、「新・建築職人論ーオープンなものづくりコミュニティ」(学芸出版社)、「建築の明日へ」(平凡社新書)、「ひらかれる建築ー『民主化』の作法」(ちくま新書)など。



水上幸子 氏：株式会社リノバリング 取締役／株式会社kvalito 取締役

大阪府茨木市生まれ。ハウスメーカー設計職にて5年間勤務後、現職。現在は全国でリノベーションまちづくりを企画プロデュースし、地域の力を生かした連鎖型の都市開発のかたちを探りながら実践している。地元茨木では2児を抱えながら夫婦でkvalito一級建築士事務所を営み、夜と余をあそびナイトマーケット「ヨアソビ・ヨ市」の企画運営等にも関わるなど地域価値向上に寄与する活動も行っている。

### <会場アクセス>

〒101-0022  
東京都千代田区神田練堀町3  
富士ソフトアキバプラザ 5F  
TEL:050-3000-2741  
FAX:03-5209-5261

- ・JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ・つくばエクスプレス線秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅 2番出口より徒歩3分

